

## 1. 教育目標

乾癬、アトピー性皮膚炎などの皮膚免疫・アレルギー疾患、皮膚悪性腫瘍、遺伝性皮膚疾患、皮膚循環障害などの皮膚疾患に関わる遺伝子、蛋白質、脂質など、さまざまな生体分子の構造、機能、発現解析技術の習得によって、分子レベルで皮膚疾患を深く理解し、皮膚疾患病態解明の基礎となる高度な研究能力を持つ皮膚科医を養成する。

## 2. 到達目標

- (1) 皮膚病態生理学の全般的理解と研究法の修得。
- (2) 皮膚分子遺伝学の理解と基礎研究法の修得。
- (3) 皮膚再生医学の理解と基礎研究法の修得。
- (4) 皮膚炎症免疫学の理解と基礎研究法の修得。
- (5) 皮膚外科学の理解と臨床的研究法の修得。
- (6) 皮膚脈管学の理解と臨床的研究法の修得。
- (7) 皮膚病理学の理解と臨床的研究法の修得。
- (8) 皮膚診断学の理解と臨床的研究法の修得。
- (9) 皮膚治療学の理解と臨床的研究法の修得。
- (10) 医療統計学の理解と臨床的研究法の修得。

## 3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

課題におけるレポート提出（10%）、実験内容のレポート提出（10%）、口頭試問の実施（10%）、研究成果の発表（10%）、発表・討議の内容（10%）、カンファレンスでの発表（50%）

## 4. 教科書・参考書

特に定めない。

## 5. 準備学習

予習:関連文献検索し、知識を整理して授業・実習に臨むこと。（1時間程度）

復習:講義内容を整理し、ノートなどにまとめておくこと。（1時間程度）

## 6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

## (第1学年・昼間開講)

## 【皮膚病態学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験 実習	皮膚疾患の分子遺伝学的・再生医学的病態解明	金澤主任教授 村田講師	火曜/1, 2 限	通年	4	第2 実験室
実験 実習	皮膚外科・脈管異常の臨床的検討	夏秋臨床教授 永井講師	水曜/1, 2 限	通年	4	カンファレンスルーム・ 外来
講義	皮膚疾患の炎症免疫学的病態解明	金澤主任教授 村田講師	木曜/4 限	通年	4	第2 実験室
演習	皮膚疾患の病理学的検討	夏秋臨床教授 永井講師	金曜/4 限	通年	4	カンファレンスルーム

## (第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	臨床・研究に関する 文献の抄読	金澤主任教授 夏秋臨床教授	月曜/6 限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 実習	皮膚疾患の血清学的・遺伝子診断	金澤主任教授 永井講師	火曜/6, 7 限	通年	4	カンファレンスルーム
講義	分子標的治療の現状	金澤主任教授 夏秋臨床教授	木曜/6 限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 実習	医療統計解析	金澤主任教授 永井講師	金曜/6, 7 限	通年	4	カンファレンスルーム

## (第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験 実習	皮膚疾患の分子遺伝学的・再生医学的病態解明	金澤主任教授 村田講師	火曜/1, 2 限	通年	4	第2 実験室
実験 実習	皮膚外科・脈管異常の臨床的検討	夏秋臨床教授 永井講師	水曜/1, 2 限	通年	4	カンファレンスルーム・ 外来
講義	皮膚疾患の炎症免疫学的病態解明	金澤主任教授 村田講師	木曜/4 限	通年	4	第2 実験室
演習	皮膚疾患の病理学的検討	夏秋臨床教授 永井講師	金曜/4 限	通年	4	カンファレンスルーム

## (第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	臨床・研究に関する 文献の抄読	金澤主任教授 夏秋臨床教授	月曜/6 限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 実習	皮膚疾患の血清学的・遺伝子診断	金澤主任教授 永井講師	火曜/6, 7 限	通年	4	カンファレンスルーム
講義	分子標的治療の現状	金澤主任教授 夏秋臨床教授	木曜/6 限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 実習	医療統計解析	金澤主任教授 永井講師	金曜/6, 7 限	通年	4	カンファレンスルーム